

NEXT長崎人材育成事業 ~令和7年度第2回事業運営委員会~

1. 概要：令和8年2月3日（火） 県庁 大会議室 出席者 85名

2. 第1部 全体会

- ①NEXT長崎人材育成事業の成果と課題、今後の展望について
- ②分野別実践事例発表

分野ごとにブースを設け生徒が実践事例を発表

第2部 グループ別対話

- ①NEXT長崎人材育成事業の成果と課題について
- ②今後の産学官連携に向けて

3. 事業運営委員からの主な意見

- ・AIが前提となった教育が実践されており、非常に良い方向だと感じた。
- ・県・学校・産業界が一体となる場があること自体が素晴らしい。
- ・高校生がAIやARなど高度なテーマに取り組んでいて驚いた。
- ・協会（企業側）も先端分野に対応できる体制づくりが必要。
- ・県立大学も高校と連携し、大学院生と高校生の交流の機会をつくりたい。
- ・教科書にない実践的な学びが課題研究で行われている。
- ・2年生からの課題研究が、深い学びや進路選択につながる。
- ・発表した高校生は、産業界が求める人材像そのもの。
- ・地元資源を活かし、経済循環を意識する生徒の視点に感動。

4. アンケート結果（回答者49名）

①本日の事業運営委員会はいかがでしたか。【3.9点/4.0点】

②分野別事例発表会はいかがでしたか。【4.0点/4.0点】

③産学官（産業界・高校・県の関係部局）が持続可能な連携体制を継続することは必要だと思いますか。【3.9点/4.0点】



<生徒の声（企業との連携による進路意識の変容）>

- ・南島原市の企業に何度か出前授業に来てもらって、魚群探知機にとっても興味がわき、来年、その会社に就職希望を出したいと思っている。
 - ・舗装の取組を通して、地元建設業への就職を決めた。
 - ・授業を通じて佐世保の観光資源や歴史的価値に興味を持った。
- 以前は県外への就職希望だったが、市内就職希望に変わった。